

ホンドモモンガ

Pteromys momonga Temminck

ネズミ目リス科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

加賀地域や白山地域の限られた地域に分布。日本固有種。

形態

ムササビによく似るが、ずっと小さい。尾はやや短く、目が大きく皮膜は小さい。背面は灰褐色から茶褐色。頭胴長15～20cm、尾長9～14cm、体重約200g。乳頭が5対(乳頭式2+2+1=10)で、タイリクモモンガ(エゾモモンガ)の4対とは異なる。

国内分布

本州、四国、九州に分布。

県内分布

これまで旧6市町村で10件の情報が得られ7メッシュの分布が知られていたが(林, 1999)、その後、2005年10月2日に白山市瀬波(キャンプ場、標高約340m)、2007年4月24日白山市中宮(集落近く、標高約400m)で確認された。その結果、8メッシュの分布となった。

生態

本種は北方系で寒冷な地方に多く、温暖な地方にはすくない。山地の森林に棲む。ムササビのように滑空する。夜行性で堅果、果実、木の芽、昆虫などを食べる。スギ、ヒノキなどの樹洞に巣を作る。ときどき枝に樹皮や葉を集めて球形の巣を作ることもある。

生息地の条件

低山帯から山地帯を主な生息地にしている。

生存の危機

情報量が少ないため、生息調査が必要である。(A)

特記事項

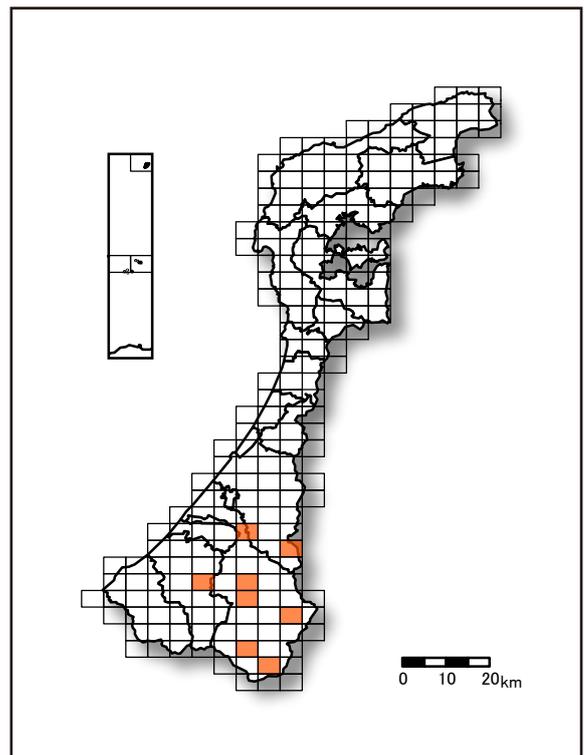
本種の生態に関する情報量が少なく、不明の点が多い。日本哺乳類学会(1997)では、普通種。九州地域は保護すべき地域個体群に指定。

参考文献

林哲 1999. ホンドモモンガ 石川県の哺乳類. 石川県.
日本哺乳類学会 1997. レッドデータ 日本の哺乳類. 文一総合出版.



写真提供者: 林哲



県内の分布